

2022年8月10日

各 位

会 社 名 日本パワーファスニング株式会社
代表者名 代表取締役社長 安田 正利
(コード番号 5950 東証スタンダード市場)
問合せ先 経理部長 金岡 伸郎
(TEL 072-789-9700)

営業外費用(為替差損)の計上及び 第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2022年2月14日に公表いたしました2022年12月期の第2四半期(累計)連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおり修正するとともに、営業外費用(為替差損)を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外費用(為替差損)の内容

当第2四半期会計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)において、外国為替相場の変動に伴い、為替差損57百万円を計上いたしました。これは主として、当社グループの保有する外貨建資産を当第2四半期末時点の為替レートで評価替えしたことにより発生したものです。なお、第2四半期累計期間(2022年1月1日～2022年6月30日)における為替差損は39百万円となります。

2. 2022年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異(2022年1月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,630	百万円 30	百万円 20	百万円 10	円 銭 0 63
今回実績値(B)	2,594	27	12	18	1 16
増減額(B-A)	35	2	32	8	
増減率(%)	1.4%	9.7%	-	84.5%	
(参考)前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	2,470	21	82	56	3 51

3. 第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異の理由

2022年12月期第2四半期(累計)連結業績予想の売上高は、当社グループの業績に関係の深い建設・住宅業界において、新設住宅着工戸数が前年を上回ったこともあり、住宅市場向け売上高は好調に推移いたしました。一般建築市場向けの拡販が予想に届かず、前回予想を1.4%下回る2,594百万円となりました。利益面におきましては、売上高の計画比未達の影響により、営業利益は前回予想を9.7%下回る27百万円、経常利益は前述の為替差損の計上により、前回予想を32百万円下回る12百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益として投資有価証券売却益を計上したことなどにより、前回予想を84.5%上回る18百万円となりました。

なお、2022年12月期の通期連結業績予想の修正はありません。

以 上